

科目名	臨床歯科医学・口腔外科学					授業の種類	演習	必修・選択		必修	
授業回数	8	回	時間数	15	時間	1	単位	配当学年時期		1年	後期
【授業の目的・ねらい】 音声言語と深く関連する口蓋裂、顎口腔腫瘍、神経障害の原因、治療法、リハビリテーションについて理解する。											
【実務者経験】											
【授業全体の内容の概要】 発声発語に関連する歯科・口腔領域の解剖生理と言語聴覚士が関与する歯科・口腔外科領域の疾患や治療と臨床的アプローチについて理解できる。 臨床と国家試験に必要な知識を身につける。											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 1. リハビリテーションと口腔機能について理解する 2. 口蓋裂の治療とリハビリテーションについて理解する 3. 顎口腔腫瘍の治療法とリハビリテーションについて理解する 4. 口腔に関わる神経疾患の治療法とリハビリテーションについて理解する											
回数	講義内容									準備物(教材)	
1	総論：リハビリテーションと口腔機能について理解できる。										
2	基礎（1）口腔解剖と口腔生理—口蓋裂を学ぶ理由について理解できる。										
3	基礎（2）口蓋帆咽頭（いわゆる鼻咽腔）について理解できる。										
4	閉鎖機能の解剖・生理、治療について理解できる。										
5	歯・口腔・顎・顔面の構造と機能、疾患概論について理解できる。										
6	歯・口腔・顎・顔面の疾患各論 ～口唇・口蓋裂～について理解できる。										
7	歯・口腔・顎・顔面の疾患各論 ～顎口腔腫瘍～について理解できる。										
8	歯・口腔・顎・顔面の疾患各論 ～顎変形症、外傷、粘膜疾患、顎関節症～について理解できる。										
定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 『言語聴覚士テキスト第3版』											
【準備学習・時間外学習】 定期試験に則した自己学習を要します。											
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。											